

# 令和5年度 事業報告書

自 令和 5年4月 1日  
至 令和 6年3月31日

社会福祉法人 上里町社会福祉協議会

# 令和5年度社会福祉法人上里町社会福祉協議会事業報告

## 第1 令和5年度事業の概要

私たちの地域生活に大きな影響を及ぼしていた「新型コロナウイルス感染症」が、令和5年5月8日以降、感染症分類第2類から第5類に移行されたことにより、コロナ禍で制限せざるを得なかったふれあいサロン等の「集いの場」が再開し、地域の絆や地域住民による支え合いの必要性を改めて実感することが出来ました。

長らく続いたコロナ禍により、社会的孤立や生活困窮などの福祉課題が深刻化する中、多様な福祉ニーズに対応するために、行政や関係機関と連携しながら丁寧な相談支援に努めました。また、地域住民等の主体的な取り組みと協働しながら、地域の福祉力を高め、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいを持って、支え合いながら暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けてさまざまな事業に取り組みました。

地域福祉の充実に向けて策定した「第2期上里町地域福祉活動計画」（令和5年度～令和9年度）の評価・検証を行いながら、社会の変化に伴う地域課題と向き合い、町民の皆さまに寄り添った地域福祉活動の展開を図りました。

## 第2 重点項目

### 1 相談・援助活動及び権利擁護の推進

複合・複雑化する支援ニーズや制度の狭間にある諸問題に対応するため、コミュニティソーシャルワーカーや生活支援コーディネーターが調整役となり、介護、障害、子ども、生活困窮等の分野を問わない包括的相談支援を推進し、伴走型支援の機能強化を図りました。

### 2 「支え合いの地域づくり」の推進

一人ひとりが地域の中で暮らし続けられるように、住民同士の顔が見える関係づくりを目指して地域課題を把握し、関係機関等と連携しながら、地域住民の参加を主体とした支え合いの地域づくりを積極的に推進しました。

また、福祉活動が地域における多世代の交流や多様な活躍の場となるように推進しました。

### 3 ボランティアセンターの機能強化

子どもたちに福祉の「種」を芽生えさせる福祉教育や小・中学生を対象にしたボランティアスクール、各種福祉講座等を開催し、住民同士が支え合う福祉の心が育まれる取り組みに注力しました。

また、『上里町地域防災計画』において、災害ボランティアセンターを担う組織として、災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営訓練、社会福祉協議会職員向け災害ボランティアセンター研修会を実施し、災害時の対応を想定した体制整備を図りました。

#### 4 安心・安全な介護保険事業等の提供

居宅介護支援、訪問介護の事業所では、利用者の健康と安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努めました。

#### 5 法人運営の機能強化

公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として、住民参加の地域福祉を推進する社会福祉協議会として、関係法令を遵守し、地域住民から信頼を得られる法人運営を行いました。

また、地域福祉事業の自主財源確保への取組みとして、法人会員の募集を開始しました。職員の資質向上のため各種研修会へ参加するとともに、事業実施のための体制整備にも努めました。

### 第3 実施事業

#### 1 会務の運営

名 称	開催年月日	内 容
理事会	5年5月29日	定款の変更について 職務権限規程の変更について 評議員選任・解任委員会の開催について 評議員の推薦について 評議員会の開催について 令和4年度事業報告について 令和4年度収入支出決算について 役員を選出について
	5年6月27日	会長、副会長、常務理事の選定について
	5年12月25日	経理規程の変更について 令和5年度収入支出補正予算について 評議員会の開催について
	6年3月19日	非常勤職員就業規則の変更について 常勤嘱託職員就業規則の変更について 役員等賠償責任保険の契約について 福祉資金貸付金償還不能欠損処分について 令和5年度収入支出補正予算について 令和6年度事業計画について 令和6年度収入支出予算について 評議員会の開催について

名 称	開催年月日	内 容
評議員会	5年6月26日	定款の変更について 職務権限規程の変更について 理事の選任について 監事の選任について 令和4年度事業報告について 令和4年度収入支出決算について
	6年1月15日	経理規程の変更について 令和5年度収入支出補正予算について
	6月3月29日	非常勤職員就業規則の変更について 常勤嘱託職員就業規則の変更について 福祉資金貸付金償還不能欠損処分について 令和5年度収入支出補正予算について 令和6年度事業計画について 令和6年度収入支出予算について
監査会	5年5月26日	令和4年度事業報告及び令和4年度収入支出決算の監査について
評議員選任・解任委員会	5年6月6日	評議員の選任について
社会福祉協議会支部 三役会	5年8月22日	令和5年度補助金交付について 令和5年度事業（各支部）について 意見交換
歳末たすけあい 配分委員会	5年12月25日	募金実績額の配分について 配分方法について

## 2 各事業の推進

### (1) 法人運営事業

#### ア 調査・広報活動

ホームページ、フェイスブックで随時の情報発信、社協だより、町広報紙への記事掲載等で、情報提供や活動報告を行い、社会福祉協議会をはじめ、ボランティアセンター、ヘルパーステーションのPRを行いました。

また、民生委員・児童委員のご協力により、ひとり暮らし高齢者等の社会調査(ひとり暮らし高齢者見守り台帳の更新)を実施しました。

## イ 社会福祉協議会支部事業の推進

小学校区単位に組織された5つの社会福祉協議会支部が、それぞれの地域に根ざしたきめ細かな各種福祉事業を実施しました。

- ・ひとり暮らし高齢者見守り活動(5支部)
- ・児童の下校見守り活動(長幡)
- ・地域支え合い活動(神保原) 他

## ウ 在宅高齢者等紙オムツ配付事業

町内在住で在宅の紙オムツ利用者(高齢者等)を対象に、民生委員・児童委員のご協力により、9月に紙オムツを配付しました。

(配付人数 150名)

## エ アスポート相談支援事業への協力

アスポート相談支援センターと協働し、生活困窮者の相談に応じ、自立に向けての支援を行いました。

## オ 福祉サービス利用援助事業 埼玉県日常生活自立支援事業(通称: あんサポ)

判断能力が十分でない方々(認知症高齢者、精神障害者、知的障害者等)が、地域で自立した生活を送れるよう、日常的な金銭管理や重要書類の預かりサービス等を行いました。(実施件数 継続利用 7名)

## カ 彩の国あんしんセーフティネット事業の推進

町内福祉施設と協働し、生活困窮に陥った方を救済する事業です。訪問・相談等を行い、経済的援助(食料の現物支給(購入費支援)等)や利用できる制度の紹介等、自立に向けた支援を行いました。(相談5件、支援件数5件(電気代・ガス代))

## キ フードバンク事業

生活困窮者に対し緊急的に食料を提供し、当座の生活を維持するための取り組みを行いました。

物資は、町民からの寄付、彩の国あんしんセーフティネット事業からの提供や歳末たすけあい事業の一環として町社協として食料購入を行い、事業の強化を図りました。(食料支援件数 延べ177世帯)

## ク 社会福祉協議会会員会費募集

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である8月を中心に社協会員会費募集の推進を行い、多くの皆さまから会費を納入いただきました。

また、地域福祉事業の自主財源確保への取組みとして、企業を対象とした法人会員の募集を開始しました。

### 令和5年度社協会員会費実績

区分	賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
普通（件）	1,101	1,045	1,520	2,528	1,275	7,469
特別（件）	3	4	21	21	33	82
会員合計（件）	1,104	1,049	1,541	2,549	1,308	7,551
会費合計（円）	553,500	526,500	781,000	1,285,000	670,500	3,816,500
寄付（円）	100	0	0	3,000	1,500	4,600
総計金額（円）	553,600	526,500	781,000	1,288,000	672,000	3,821,100
加入率（％）	71	90	72	67	63	70

### 令和5年度社協法人会員会費実績額（1口5,000円）

口数	1口	2口	3口	4口	合計
件数	14	1	0	1	16
会費合計（円）	70,000	10,000	0	20,000	100,000

## ケ 実習生受入れ事業

次世代の福祉従事者を育成するために、福祉系大学から社会福祉士を目指す実習生（1名）の受入れを行いました。

- ・実習期間 8月7日（月）～9月22日（金）のうち25日間

## (2) 地域福祉活動事業

### ア スマイル訪問事業

民生委員・児童委員の見守り活動の一環として、一定の要件を満たす70歳以上のひとり暮らし高齢者宅へ、日用品等を持参しながら、3か月に1回の訪問と声かけを行っていただきました。

（延べ訪問者数：1,489名、1回あたり平均訪問者数372人）

### イ ふれあいサロン設置の推進

地域の高齢者や住民等が気軽に集い、交流や健康増進の場を提供するふれあいサロンの設置を推進し、活動の継続が図れるよう、関連ボランティアや貸し出し可能な物品の紹介などを行いました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、各サロンの活動も積極的に展開され、21サロンのうち、16サロン（新規開所1、活動再開4を含む）で事業が実施されました。

### ウ 福祉機器等貸出サービス

一時的に福祉機器（車イス・杖・シルバーカー等）が必要な個人及び団体に、無料で貸し出しを行いました。

（延べ貸出数： 車イス 52台・携帯用点字機 10枚 ）



## ウ 寄付

(物品)・個人	7 件	(寄付金)・個人	7 件
・団体	16 件	・団体	19 件
・企業	9 件	・企業	3 件
・寄付 BOX	16 件		

## エ 収集リサイクル活動

町民・団体等のご協力により、使用済切手、使用済みインク、エコキャップ等を収集し、収集团体(福祉施設や関係機関)に送付しました。

## オ パネルシアター講座

パネルシアターの製作から実演まで体験し、今後のボランティア活動の資質向上を目指し、新しい人材育成及び福祉の貢献に寄与するため、2月28日(水)、3月4日(月)、11日(月)、26日(火)に講座を開催しました。(受講者16名)

## カ はじめての手話体験教室

聴覚障害への理解を深め、仕事や日常生活の場面で活用できる簡単な手話表現を学ぶため、12月1日(金)、8日(金)、15日(金)に講座を行いました。(受講者数16名)

## キ 夏のボランティア体験プログラム

気軽にボランティア活動に参加できるきっかけづくりのため、高校生以上を対象とした介護施設及び保育園でのボランティアの体験プログラムを実施しました。

・7月24日(月)～8月31日(木)

(参加者数 延べ13名)

## ク 小中学校福祉体験教室への協力

総合的な学習の一環として、児童・生徒の福祉への理解や関心を高めてもらうため、今年度は長幡小、七本木小、上里東小、賀美小、神保原小で開催された福祉体験教室に協力、ボランティアを講師として派遣しました。(派遣回数 11回、参加児童数 225名、派遣者数 43名)

## ケ 小・中学生のボランティアスクール

小・中学生を対象に、福祉の体験を通して思いやりの心を育て、実生活においても思いやりの心を持って行動できるように体験学習を開催しました。

今年度は8月1日(火)にSDGsから福祉を学ぶ、8月3日(木)に読み聞かせ体験教室、4日(金)に空の杜保育園での読み聞かせを行いました。(延べ参加者数 24名)

## コ 福祉協力校事業の推進

福祉教育の推進を図るため、町内の小・中学校への福祉活動に対しての助成を行いました。(助成金 小学校 30,000 円/校、中学校 40,000 円/校)

## サ やさしい日本語とボランティアの心得講座開催への協力

2月10日(土)に役場主催で開催された日本人と外国人がお互いの立場を理解し、安心して暮らすことの出来る地域づくりに向けて、身近な外国人の方と気軽にコミュニケーションをとるコツを学ぶための講座の参加者募集及び当日の運営に協力しました。

## シ ママフェスこだま～笑顔溢れるまちをつくろう～への協力

5月4日(木・祝)に旧本庄商業銀行煉瓦倉庫にて、こだま青年会議所主催で、子育てに役に立つ情報を発信するイベントが開催され、当日の運営に協力しました。

## ス 災害ボランティアセンターの運営

災害発生時に、災害ボランティアセンターの運営を円滑に進めるための取組みとして、美里町・神川町・上里町の3町社会福祉協議会合同で研修会及び運営訓練を行いました。

「社会福祉協議会職員向け災害ボランティアセンター研修会」を9月9日(土)に実施し、24名の参加がありました。(社協職員21名、行政職員3名)

また、ReVA復興ボランティアチーム・上尾の皆様を講師に迎え、「災害ボランティアセンター運営訓練」を1月20日(土)に実施し、53名の参加がありました。(一般住民31名、こだま青年会議所4名、行政職員3名、社協職員15名)

## (4) 相談事業

### ア 心配ごと相談

毎月第三木曜日、午後1時30分から午後3時まで、上里町福祉町民センター研修室において、民生委員・児童委員が町民の日常生活の悩みや心配ごとに対して相談にあたる心配ごと相談を開催しました。(相談件数 7件)

### イ 弁護士による無料法律相談

事前予約制で年6回、5月23日(火)、7月19日(水)、9月20日(水)、11月21日(火)、1月23日(火)、3月19日(火)午後2時15分～午後4時15分(1人30分)、弁護士による法律に関する相談を受け付け、問題解決に向けた指導助言を行いました。(相談件数 23件)

## (5) 資金貸付事業

上里町社会福祉協議会福祉資金貸付事業：低所得世帯の生活援助のため、福祉資金の貸付相談を行いました。

(相談件数： 4 件、うち貸付件数 4 件、貸付金額 141,000 円)

## (6) 愛の福祉基金事業

国が提唱する地域福祉基金の趣旨を踏まえ、高齢社会に対応するための基金として積み立てしているものです。

この基金運用から生ずる運用益については、他の補助事業対象とならない在宅福祉等の普及・向上・健康生きがづくり事業、ボランティア活動の活性化等のため、社協の事業の実状に即して運用することが出来るものです。

(令和 5 年度積立額：10 万円)

## (7) 生活福祉資金貸付事業

### 埼玉県社会福祉協議会生活福祉資金貸付制度

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ緊急小口資金貸付の申請受付を行いました。

- ・緊急小口資金 (上限：10 万円)

(相談件数： 13 件、うち申請件数 1 件、貸付決定金額 100,000 円)

## (8) 高齢者等支え合いサービス事業 (高齢者等生活応援隊)

上里町と委託契約を締結し、買い物、掃除、調理、庭の手入れ等の日常生活上の援助を希望するひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、協力会員を派遣する事業を行いました。

- ・通常のサービス：1 時間あたり商品券 1 枚
- ・短時間サービス：10 分以内の作業を同月内 5 回までの利用で商品券 2 枚

※商品券 [商工会が発行する商品券(額面 500 円)]

(延べ利用時間 730 時間、延べ利用者数 626 名)

※利用会員登録者数 103 名、協力会員登録者数 57 名

## (9) ファミリー・サポート・センター事業

上里町と委託契約を締結し、子育て中の保護者の日常生活を支援するため、子どもの預かりや送迎等のサービスを行うセンターの運営を行いました。10月には提供会員等を対象に、心肺蘇生とAEDの使い方の指導等の研修会を開催しました。

(参加者 4名)

- ・対象：小学校6年生まで
- ・利用料：平日午前7時～午後7時 700円/時間  
平日上記以外の時間 800円/時間  
土日祝日及び年末年始 800円/時間

(活動件数 104回、活動時間 137時間)

※依頼会員 50名、提供会員 25名、両方会員 6名

## (10) 生活支援体制整備事業

上里町と委託契約を締結し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくにあたり、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう行政と生活支援コーディネーターが連携し、事業を実施しました。

### ア 地域支え合い活動

- ・賀美小学校地区では、令和3年度に活動開始した「賀美安心サポートの会」の活動に対し、補助金交付や運営に対し助言等の継続支援を行いました。
- ・神保原小学校地区では、令和4年度に社協神保原支部で実施した地域支え合い活動に関する住民アンケート調査の結果をもとに、支部組織員から10名を選出し、ちょっとした困りごとを住民同士で支え合う組織「支え愛とおせっ会」の立ち上げ支援を行いました。
- ・長幡小学校地区、七本木小学校地区、上里東小学校地区にも地域支え合い活動を広げていくために、「これからの私と地域を考える会」を小学校区ごとに開催し、意見交換を行いました。

### イ 生活支援サポーター養成講座（入門Ⅰ・Ⅱ）

日常生活のちょっとした困りごと（ごみ出し、草むしり等庭の手入れ、掃除等）をお手伝いする担い手養成のために生活支援サポーター養成講座を開催しました。

(入門Ⅰ・Ⅱ修了者12名、入門Ⅰのみ修了者1名)

### ウ 移動販売

買物困難者に向け移動販売を検討し、上里町と㈱カスミが締結した「地域の見守りと買い物支援活動推進に関する協定」に基づき、令和6年6月オープンとなる移動スーパーの運行準備を進めてまいりました。

## (11) 老人居宅介護等事業

介護保険法に基づき、要介護、要支援及び事業対象者の認定を受けた利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介護や日常生活全般の援助を行うヘルパーステーションの運営を行いました。

### ア 要介護(介護給付)

平均利用者数 14.6名、延べ訪問件数 1,860件、延べサービス時間 2,258.6時間

### イ 要支援・事業対象者(総合事業)

平均利用者数 12.8名、延べ訪問件数 960件、延べサービス時間 960時間

## (12) 居宅介護支援事業

在宅介護や在宅生活に関する相談援助、居宅サービス計画(ケアプラン等)の作成、介護サービス提供事業者との連絡調整等を行う居宅介護支援センターの運営を行いました。また、介護予防把握事業を町より受託し、支援を要する高齢者等を早期発見するため、個別訪問による実態把握を行いました。

### ア ケアプラン

延べ作成件数 653件、利用者実人数 75名

### イ 介護予防ケアプラン・ケアマネジメント業務

延べ作成件数 276件、利用者実人数 28名

### ウ 介護予防把握事業

延べ訪問件数 28件

## (13) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、居宅介護の受給資格を認定された利用者宅へ訪問介護員を派遣し、身体介助や家事援助及び生活等に関する相談並びに助言その他の必要な日常生活上の支援を行いました。

平均利用者数 14名、延べ訪問件数 1,925件、延べサービス時間 2,255.5時間

## (14) 日赤埼玉県支部上里町分区事業

### ア 日赤活動資金募集の推進

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である5月を中心に日赤活動資金募集の推進を行い、多くの皆さまから資金(会費)を納入いただきました。

令和5年度日赤活動資金募集実績額 (単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
507,800	173,000	634,500	551,800	636,700	2,503,800

### イ 赤十字奉仕団活動への協力

- ・上里町防災フェスティバルにおける炊き出し訓練

7月29日(土)に開催された上里町防災フェスティバルにて、赤十字奉仕団員による炊き出し訓練を実施しました。当日は、ハイゼックス(炊飯袋)を用いて135袋・270食分のご飯を炊き、非常食と一緒に来場者に配布しました。

- ・防災体験合宿における講義(炊き出し準備を含む)

9月1日(金)に実施された役場主催の「避難所体験防災体験合宿」で、赤十字奉仕団員の指導のもと、災害時を想定した炊き出しを体験していただきました。

(参加親子数 12組)

- ・日赤短期講習会「救急法」の開催

「救急法」の一つとして、三角巾を用いたケガの手当について学びました。実技を交えながら、過去に受講歴のある団員は知識等を振り返る機会として、初めて受講する団員は「自分にできること」を考え・学ぶ機会として、有事への心構えを新たにしました。

(参加人数 15名)

## (15) 埼玉県共同基金会上里町支会事業

### ア 赤い羽根共同募金

町民・区長・地区役員等のご協力により、募集期間である10月を中心に赤い羽根募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和5年度共同募金(赤い羽根募金)実績額 (単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
485,600	284,500	636,050	538,190	534,450	2,478,790

## イ 歳末たすけあい募金(歳末たすけあい運動)

新たな年を迎える時期に、町民の福祉向上を目指し、支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができるよう、関係機関と協働し、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、各種福祉事業に取り組みました。

この歳末たすけあい運動の財源とするため、町民・区長・地区役員等のご協力により、運動時期である 12 月を中心に歳末たすけあい募金の推進を行い、多くの皆さまから募金をいただきました。

令和 5 年度共同募金(歳末たすけあい募金)実績額 (単位:円)

賀美	長幡	七本木	上里東	神保原	合計
440,960	330,000	571,260	546,480	450,780	2,339,480

## ウ 歳末たすけあい募金配分金事業

区分	慰问数	内容等	配分金額
困窮世帯	44 世帯	慰问金配付(10,000 円/世帯 家族 1 名増につき 3,000 円増額)	512,000 円
在宅高齢者等	162 人	紙オムツ等配付	1,327,980 円
町内福祉施設	25 施設	みかん配付(61 箱)	244,000 円
生活困窮者支援用食糧購入		米・缶詰等長期保存可能食品	49,933 円
災害ボランティアセンター運営訓練事業費		児玉郡内 3 社協(上里町・美里町・神川町)合同事業	35,051 円
社協だより発行代		町民への事業報告・収入報告等	50,000 円
合計			2,218,964 円

※2,339,480 円－2,218,964 円＝120,516 円

(募金実績額) (配分金額) (残額)

残額 120,516 円は、埼玉県共同募金会へ送金し、上里町分として次年度へ繰り越し。

## 令和5年度事業報告書の附属明細書

令和5年度事業報告書の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。